

2 世界ノトナリ

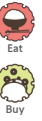


Sekai no Tonari | Cafe



Tonikaku | Complex facility

1 兎に角



Data

📍 新潟県上越市本町 6-4-19
☎️ 025-512-4982
🕒 10:00 ~ 17:00
📅 月・火曜

👤 20席
🅑 約20台 (世界館共同)
🏠 約90年
📅 2018年3月21日

「トナリ」から、
人の流れをつくる

店が建つのは日本最古級の映画館「高田世界館」のお隣。映画の余韻に浸れるようにと、高田世界館の事務所としても使われていた町家を改装してカフェをオープン。あたたかみのあるレトロな空間で手作りのスイーツや食事が味わえる。「建物が隣接する雁木通りの町家は、みんな助け合いの精神が強いんです。その魅力を感じ、足を運んでくれる人が増えてくれたら」とスタッフのみなさん。



スタッフのみなさん
佐藤 範子さん 大久保 喜和さん 大久保 正司さん

3

Minnano French Lerch | Restaurant

みんなのふれんち Lerch

「この町家に出会ったとき、職人の情熱を感じたと話すオーナーの江口さん。自らリノベーションに参加し、照明や家具選びまでこだわりの店内は古さと新しさが調和したセンスのいい空間。提供するのには、和の要素を取り入れた創作フレンチ。特に『レルヒ名物ホタテと白身魚のバイ包み焼き』は、バイの香ばしさと魚介のうまみが絶妙。

古さと新しさが
マッチした、
創作フレンチのお店

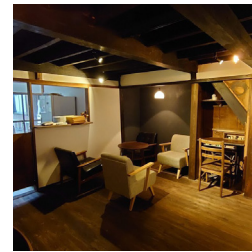
Data

📍 新潟県上越市本町 2-2-26
☎️ 025-520-8313
🕒 11:00 ~ L014:00
18:00 ~ L021:30
📅 2018年2月26日

👤 40席
🅑 10台、その他提携あり
🏠 約150年
📅 2018年2月26日
📅 木曜



オーナー
江口 直樹さん



「上越が誇るべき町家を守るために、＼＼とにかく、何かやらなきゃ」と思ってたこの建物のリノベーションを始めた。それが施設名の由来でもあるんです(笑)と話すのは、代表の打田さん。建築士でもある打田さんの手によって、現在建物はコーヒースタンド『DIGMOG COFFEE』やシェアキッチン・オフィスが入った複合施設に生まれ変わった。『DIGMOG COFFEE』は、上越出身の人気イラストレーター！大塚いちお氏がオーナーを務める。シェアキッチンは誰でも自由に利用可能。コーヒーを買ったり、実際に施設を利用したりしながら町家の魅力に触れることができる。

Data

📍 新潟県上越市仲町 4-3-14
☎️ 025-520-9105
(合同会社ニトデザイン&リビルド)
DIGMOG COFFEE 11:00 ~ 17:00
DIGMOG COFFEE 火・水曜
なし
約150年
📅 2019年12月13日



管理人
打田 亮介さん



「町家っていいな」を感じてみて！
いま見て、過ごすから「新しい」。
かつての城下町らしい雰囲気、
地方ならではのあたたかきを感じられる上越・高田のまち。
新しい建物が続々と増えてはいるけれど、母屋のひきしが伸びた雁木が続く雁木通りの街並みは昔ながらの風情を今なお残しています。かつての商店や民家など、「町家」と呼ばれるレトロな建物もたくさん現存しているんですよ。
そんな高田の町家ですが、いま、その建物をリノベーションして活用する人たちが増えてきているって知ってましたか？ 町家そのものの見学や上越の文化を伝える施設はもちろん、カフェやレストランといった飲食店、民泊、オフィスなどなど、次々と新しい姿に生まれ変わっているんです。
かつて暮らした人々のぬくもりと記憶が残る町家は、現代を生きる私たちが見るからこそ感じる「新しさ」にもあふれています。実際に巡ってみれば、きつとしみじみと「町家っていいな」って思っちゃいます。そして、そこから「町家でなにかやりたいな」なんて思っちゃう人もいます。



3 Joetsu Takada